

図研エルミック株式会社 決算説明資料

(東証第二部：コード4770)

2020年5月29日

代表取締役社長 朝倉 尉

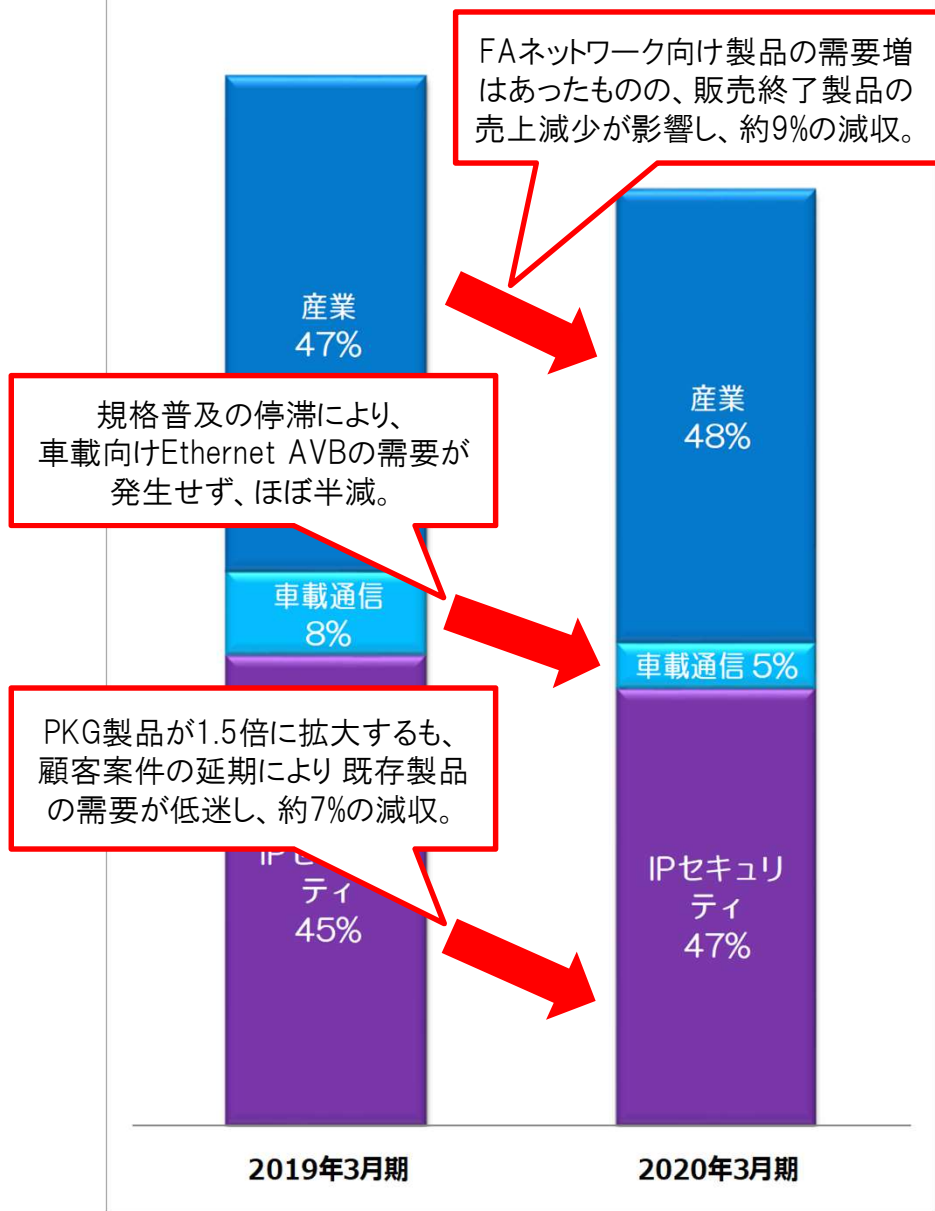


2020年3月期 業績概要

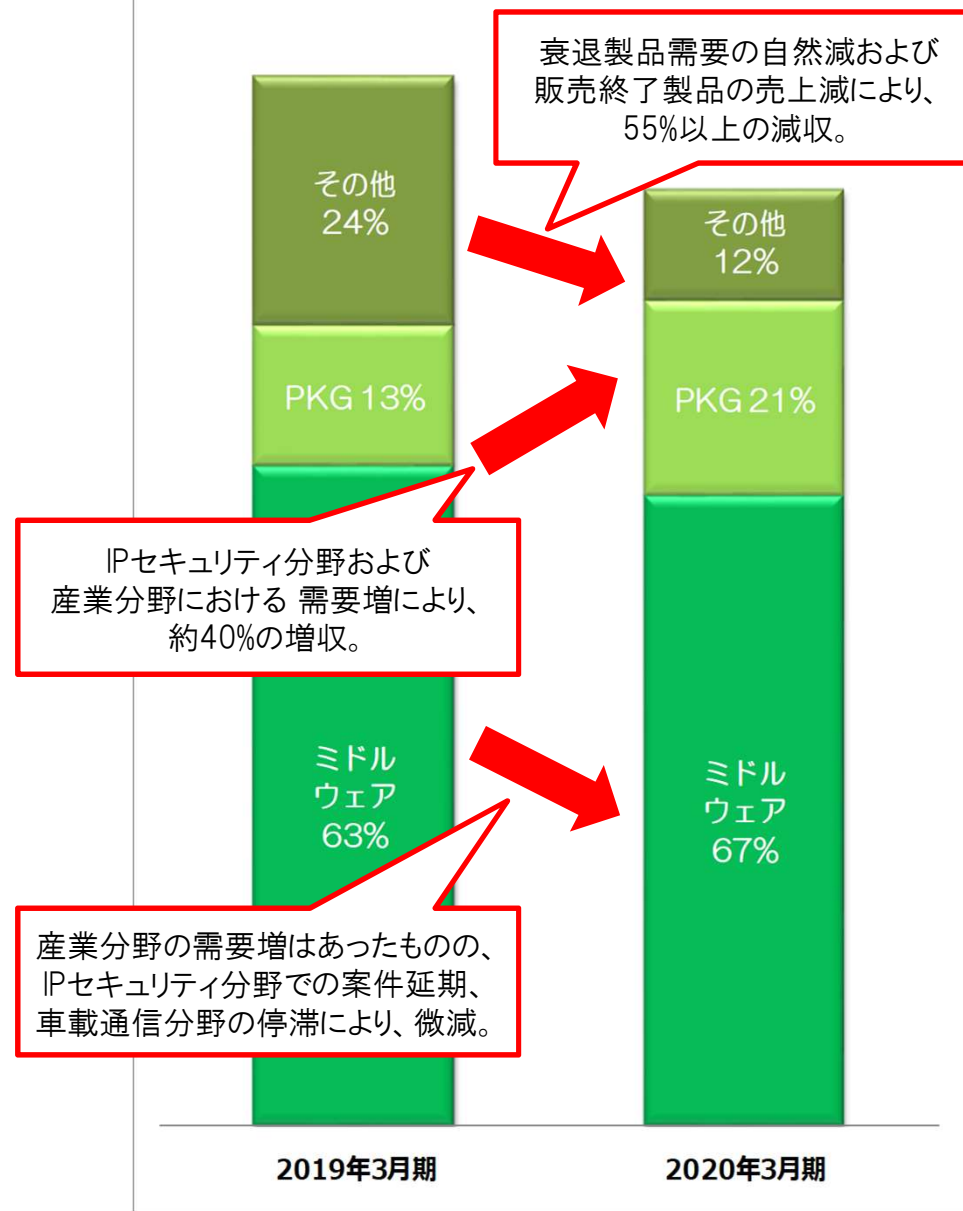
第43期 (単位:百万円)	上半期		下半期		通期	
	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減
受注高	358	▲14	320	▲209	679	▲223
売上高	382	▲18	388	▲74	770	▲92
売上総利益	210	▲1	212	▲23	422	▲24
販管費	217	+19	202	±0	419	+19
営業利益	▲6	▲20	9	▲23	3	▲43
経常利益	▲6	▲20	10	▲24	3	▲44
当期純利益	▲8	▲18	▲1	▲33	▲9	▲51

- 経済情勢の急激な変化の影響を受け、減収減益かつ最終損失計上となる厳しい結果。
- 前年度末の複数年契約での受注計上と販売終了製品の影響により受注が大幅減少。
- 販売終了製品および衰退製品需要の自然減による売上高が大幅減少。
- 規格普及の停滞、顧客開発計画の延期や設備投資抑制により、期初計画と大きく乖離。

ターゲット分野別 売上高比率



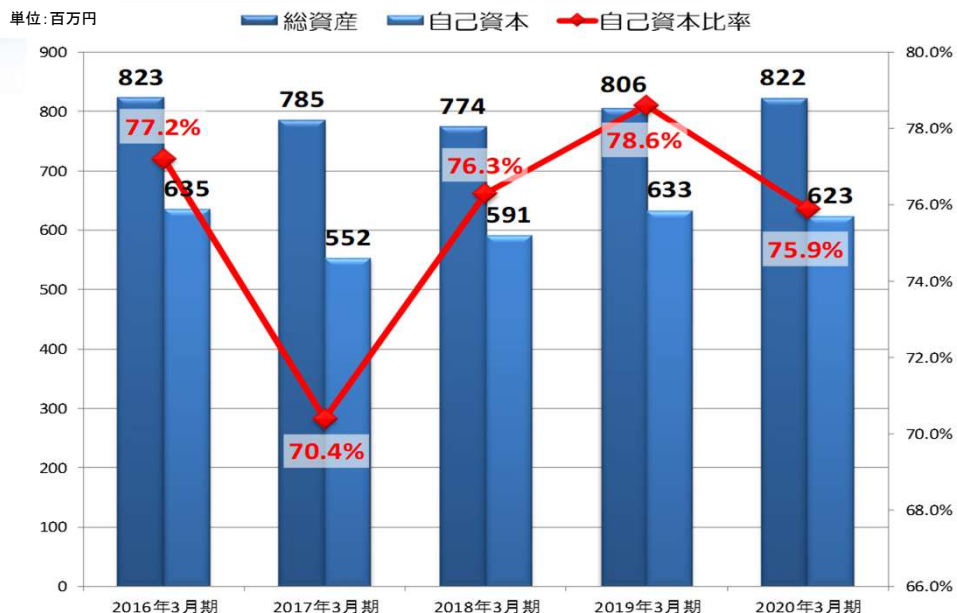
製品別 売上高比率



2020年3月期 業績ハイライト

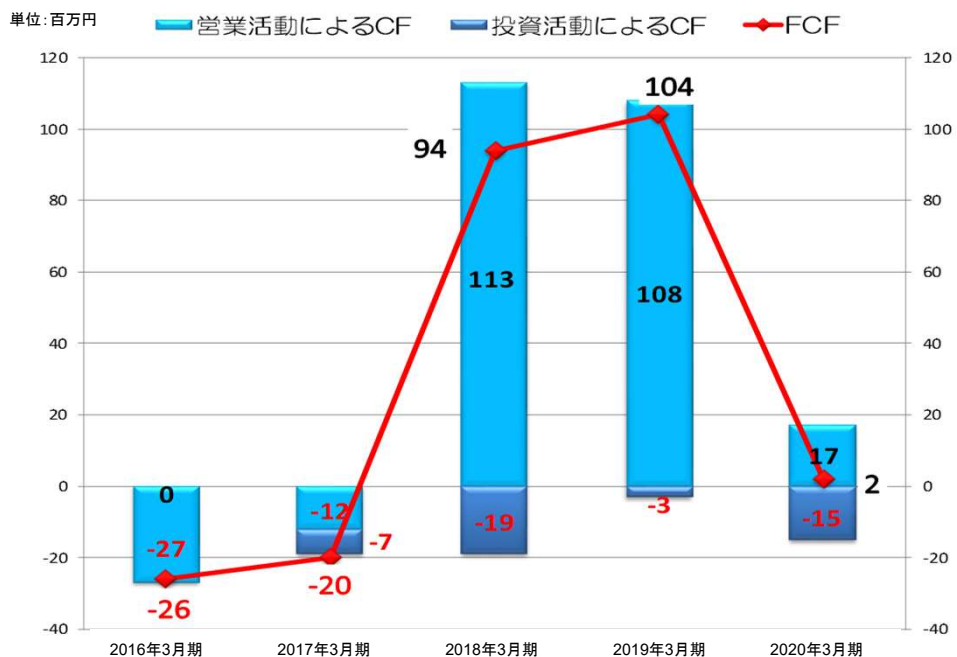
主要製品・技術の展開と分野	製品区分	主要製品	売上高 (単位: 百万円)			状況
			2019年3月期	2020年3月期 期初予想	2020年3月期	
<p>車載分野</p> <p>産業分野</p> <p>IPセキュリティ分野</p> <p>撤退・衰退する既存ビジネス</p>	Ethernet 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ KASAGO TCP/IP ・ Ze-PRO ECHO Lite ・ Ze-PRO AVB ・ Ze-PRO TSN (計画) 	863	1,000	770	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存製品の需要は、ほぼ予想通り推移。 ・ 車載向けEthernet AVBの普及を大きく見誤り、期初予想と大幅に乖離し減収。
	FA Protocol 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ze-PRO CC-Link IEF BASIC ・ Ze-PRO CC-Link IE Safety ・ Ze-PRO CC-Link IE TSN 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度に対し需要は増加し、増収。 ・ 機能安全およびFAネットワークの規格普及が相当に鈍く、期待した需要増加には至らず、期初予想に対し、大幅な乖離。
	FA Application PKG製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ チョコ停Finder ・ HS Finder ・ FA Finder 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 新製品を積極的に投入し、微増。 ・ 景況の悪化に伴う顧客の設備投資見直しや延期が影響し、期初予想と大幅に乖離。
	映像 Streaming 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ze-PRO RTP/SRTTP ・ Ze-PRO MP4 Mux/Demux ・ Ze-PRO IPcam/IPmon (ONVIF) ・ Ze-PRO SCP ・ Ze-PRO NVR PKG 				<ul style="list-style-type: none"> ・ SIerやアプリ開発者向けのPKG製品は、期初予想を上回る結果で増収。 ・ ONVIF関連製品の需要が、顧客の開発延期等の影響により期初予想と乖離。 ・ 結果、全体として前年並みで推移。
撤退・衰退する既存ビジネス						<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初予想通りで推移したが、販売終了製品や需要の自然減により、55%以上の減収。

2020年3月期 財務ハイライト



電子記録債権 18百万円増加・前払費用 16百万円減少・
 売掛金 38百万円減少したことにより
流動資産は0百万円減少し、
 繰延税金資産 8百万円減少・長期前払費用 19百万円増加
 したことにより、**固定資産が16百万円増加** したため、
資産合計は8億22百万円（16百万円増加）となりました。

また利益剰余金が9百万円減少したことにより、
純資産合計は6億23百万円となり、
 自己資本比率も約75%となりました。



前払費用の増加 36百万円、法人税等の支払額 11百万円
 があったものの、前受収益額の増加 49百万円、売上債権
 の減少額 19百万円、減価償却費16百万円等により、
営業活動の結果得られた資金は17百万円となりました。

またフリーキャッシュフローは2百万円の獲得と
 となりました。

2021年3月期 業績予想と重点取り組み

2021年3月期 業績予想と重点取り組み

主要製品・技術の展開と分野	製品区分	売上高 (単位: 百万円)		見通しと重点取り組み
		2020年3月期	2021年3月期 (予想)	
<p>車載分野</p> <p>産業分野</p> <p>FA Application PKG製品</p> <p>映像 Streaming 製品</p> <p>IPセキュリティ分野</p>	Ethernet 製品	770	未定	<ul style="list-style-type: none"> 既存製品は、景況の悪化から前年度より、若干だが需要が減少する予想。 Ethernet AVBの普及は、引き続き停滞する見通しであり、LSIベンダーとの協業を中心に活動し、需要の推移を注視。
	FA Protocol 製品			<ul style="list-style-type: none"> 機能安全対応およびFAネットワークの規格普及による需要の高まりは、2021年度以降と予測し、前年度並みの業績を予想。 戦略顧客ならびにパートナー製品とのバンドル販売に注力した活動を推進。
	映像 Streaming 製品			<ul style="list-style-type: none"> 製造現場での映像活用ニーズは高まってきており、増収を見込む。 積極的な直販活動に加え、パートナーの状態監視・モニタリングシステムにバンドルした拡販活動も重点的に推進。
	撤退・衰退する既存ビジネス			<ul style="list-style-type: none"> 既存顧客の新製品開発が複数計画されており、ミドルウェア製品の需要は増加する予想。 需要の増加しているSIerやサービス提供会社等へ、PKG製品の積極的な拡販活動を推進。
				<ul style="list-style-type: none"> 衰退製品需要の自然減により、減収見通し。

現時点での市場予測と、それに基づく重点取り組みを実施する計画ですが、コロナ禍の影響を予測することが困難なため、2021年3月期の業績予想は未定としています。

組込領域 (ミドルウェア ビジネス)

組込領域以外 (システムPKG ビジネス)

ミドルウェア技術のPKG化



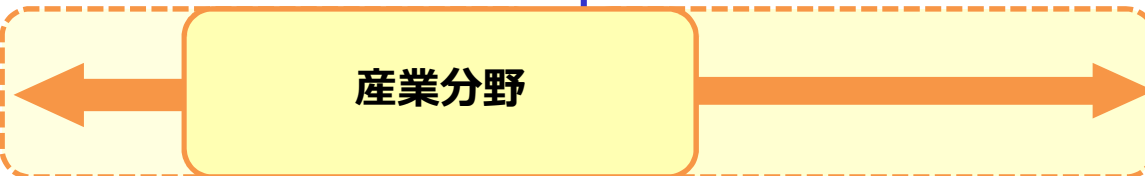
「映像活用」
「映像配信システム」

規格普及が不明瞭であり、
限定的な活動



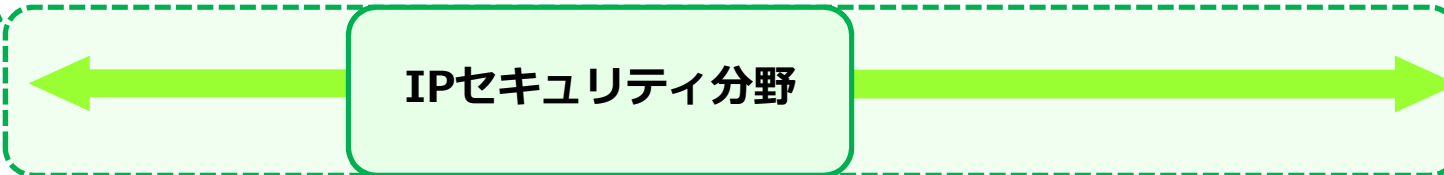
本格的な普及開始は
2021度以降と予測
戦略顧客中心に活動

製造現場での映像活用ニーズは高い
直販、パートナー販売とも積極展開



既存顧客の新製品開発
に向けた活動を推進

PKG製品を
SIer, サービス企業等へ
積極拡販



既存ビジネスの深耕

ビジネス領域の拡大

・強みのStreamingを中心に深耕

- ・新たな顧客層の獲得
- ・商談規模拡大による利益の増加
- ・サブスクリプションによる継続的な収益確保

パッケージ製品の拡販 : FA Finder (産業分野)

製造現場向け見える化ツール市場は、需要が拡大する予測。
 チョコ停・工程改善向けシステムとして、導入が本格化。
 人手不足・省人化ニーズが市場を後押し。

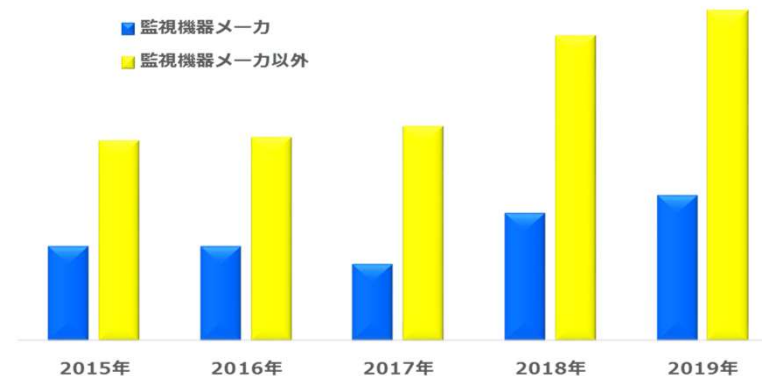
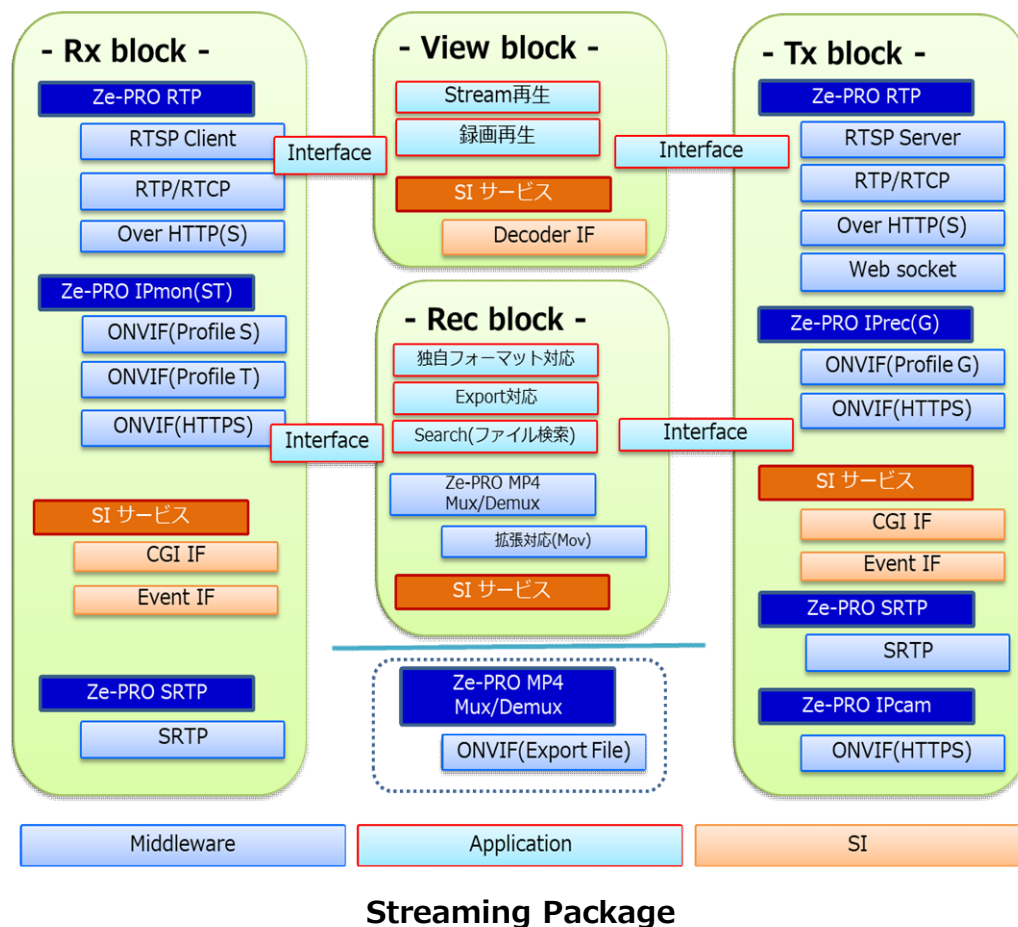


見える化ツール 国内市場予測 (億円)

- 生産システムとの連携による映像活用を確実に実現できる用途別システムを提供。
- FA Finderを映像活用のモジュールとして、パートナー製品へ組み込み、パートナー販路による拡販を推進。

パッケージ製品の拡販 : Streaming PKG (IPセキュリティ分野)

監視カメラを用いたシステム化・ソリューションサービスのニーズが増加。
 単なる監視から映像データの活用へシフト。
 監視機器メーカー以外からの需要が顕著に増加。

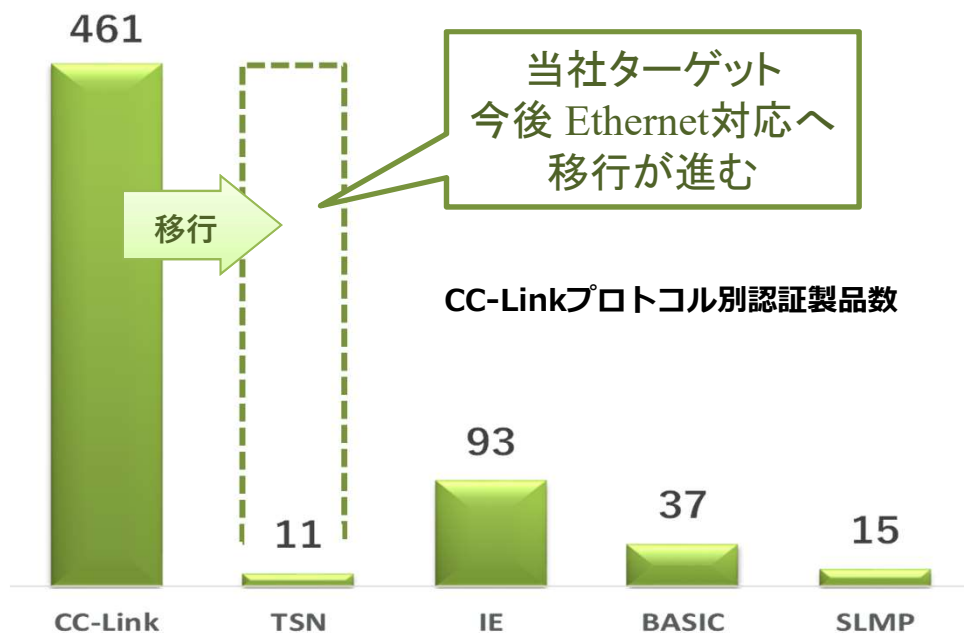


Streaming製品への問合せ件数推移

- 映像システムで必須の機能をStreaming PKGとして一括提供。システム構築・機能追加を容易にする提案を推進。
- Sler、サービス提供会社等、機器開発をしない顧客の映像システム構築への拡販を推進。

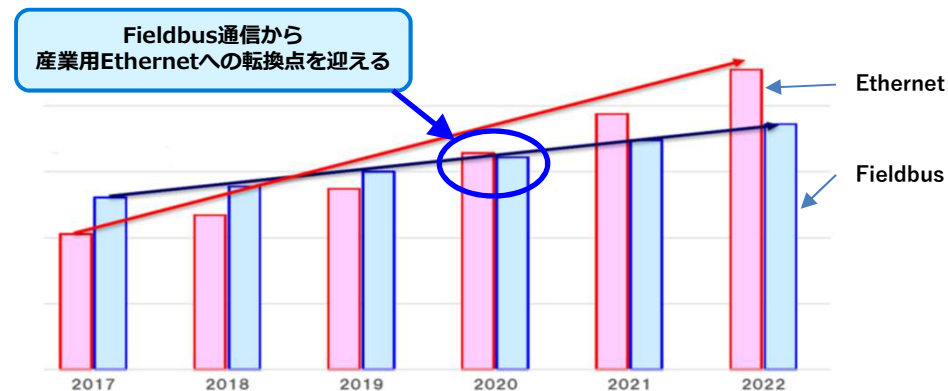
FA Protocol製品の拡販：TSN（産業分野）

大容量かつ高速通信のニーズの高まりにより、累積ノード数では、産業用EthernetがFieldbusを上回る予測。
 情報通信と制御通信の混在を可能とするTSNの需要も高まる。



CC-Link IE TSN

Ze-PRO CC-Link IE TSN (Remote)
 Ze-PRO CC-Link IE TSN (Master)



- 産業用Ethernetを採用する製品は確実に増加し、Ethernet TSNの需要も高まる。
- 当社ミドルウェアをパートナーの機器やアプリケーションにバンドルし、パートナー販路による拡販を推進。

- ご注意 -

本資料には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

つなぐ(Networking)、流す(Streaming)を
実現する技術でIoT社会に貢献します。



図研エルミック株式会社

Tel : 045-624-8111

URL : <http://www.elwsc.co.jp/>

Email : ir@elwsc.co.jp

Elmic